

ガストロノミックツーリズム in 北海道

～食と文化の観点から地域を見つめ、北海道を学ぶ旅～

第11話

「オホーツク」

遊佐 順和 (ゆさ よりかず)

公立大学法人旭川市立大学 地域創造学部地域創造学科 教授

東京都出身。北海道大学大学院教育学専攻修了。大学卒業後、日本フィルコン株式会社、池協会計事務所、AIR DO北海道国際航空株式会社、株式会社ホテルオークラ札幌などの勤務を経て、2010年より札幌国際大学に奉職し、2025年より現職に就く。本務の傍ら、内閣府地域活性化伝道師、北海道住宅供給公社理事、旭川市工芸センター運営委員会委員、旭川市国際交流委員会委員長、一般財団法人北海道開発協会評議員、一般社団法人和食文化国民会議 全国「和食」連絡会議「和食」地域特派員なども兼務する。



今回は、オホーツク圏の中核都市である北見市と、近年注目されているオホーツク海沿岸に点在する遺跡を巡りオホーツク文化を体感できる「オホーツク遺跡街道構想」に関する内容をご紹介します。

2006（平成18）年3月、平成の大合併により北見市、^{たんの}端野町、^{ところ}常呂町、^{るべし}留辺蘂町が合併し、現在の北見市が誕生しました。北見市はオホーツク圏の経済、社会、文化における中心的な役割を担い、合併により拡大した市域は、オホーツク海沿岸より東西に延びる道路の距離で110kmにおよび、日本一の生産量を誇る数多くの幸に恵まれる食財の宝庫です。

北見のソウルフードでもある焼肉は、1950（昭和25）年の屋台が始まりといわれ、市内には74軒の焼肉店があり、重要な観光資源にもなっています。焼肉の付け合わせや、生ダレの原料としても欠かせない玉ねぎは、北見が日本一の生産量を誇り、黄玉ねぎ、赤玉ねぎ、サラダ玉ねぎなど種類も豊富に生産されています。北見の玉ねぎは食材としての利用はもとより、オニオンスープなどの加工品でも地元を代表する加工食品として全国から注目を集めています。

このほか、北見は「カクテルの街」としても名高く、カクテル技術を競う全国大会に出場・入賞したレジェンドのいるバーが多くあります。この業界は日本バーテンダー協会（NBA）に所属し、横のつながりをもつバーテンダーが多く、初めて訪問する店舗でも普段行きつけにするバーの話から話題が広がり、旅先でグラスを傾け楽しい時間が過ごせる大人の社交場です。



北6条西3丁目 焼肉道食「七厘でいただく焼肉や玉ねぎ」



大正284番地1 グリーンス北見
「社屋、AIR DO機内で提供・販売されるオニオンスープ」



北6条西2丁目エイトビル BAR MASAKI
「オリジナルカクテル「イルパチオ（伊語：ロブけ）」

産業史や名建築物から知る北見文化の奥深さ

玉ねぎと並びかつて日本一の生産量を誇り、戦前には世界の薄荷市場でも7割を占めた北見地方の薄荷は、この地方の発展に大きな役割を果たしてきました。北見ハッカ記念館では、その栽培や加工に係る歴史的な沿革、生産工程や利用される機器などが解説・展示されています。併設される薄荷蒸溜館^{じょうりゅう}では、薄荷農家^{とりあしゆ}が取卸油を採取する工程を再現し、薄荷蒸溜窯をはじめ歴代の蒸溜機器や各種道具が展示されており、二つの施設見学を通じ、北見の主要産業^{ひも}を紐解きその歴史を深く学ぶことができます。

1935（昭和10）年創業の老舗菓子店の清月^{しんげつ}では、看板商品「赤いサイロ」にならび創業以来販売する「薄荷羊羹^{ようかん}」は、百科事典『ジャポニカ』（小学館）でも紹介されています。北見ハッカ通商では、2024（令和6）年開設の薄荷堂本店に優雅なダンスホールのようなショールーム^{しょうるむ}を設け、北見地方の薄荷産業史のパネル展示や、各種商品が陳列されています。ゆったりした店内では、ミントジェラートをはじめ爽やかな味わいのスイーツがイートインできます。

このほか、北見には柏^{かしわ}の古木や榆^{いれ}の大木^{そび}が聳える高台にスイス風山小屋を思わせる「ピアソン記念館」があります。この建築物は、1888（明治21）年に来日したアメリカ人宣教師のピアソン夫妻が1914（大正3）年にウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏設計のもと建築したもので、夫妻はここを活動拠点に北見での遊郭設置^{りやくちゆうつききゆう}阻止活動や、略註付旧・新約聖書出版など数々の偉業を成し遂げました。現在、この記念館は日本最北のヴォーリズ建築物としての保存とともに、ピアソン夫妻の資料館としての機能を果たしています。



南仲町1丁目 北見ハッカ記念館「外観」、薄荷蒸溜館「蒸溜窯」



北1条西1丁目 清月「看板銘菓」



卸町1丁目 北見ハッカ通商本社 薄荷堂本店
「ショールーム・蒸溜機などの展示品・薄荷のスイーツ」



幸町7丁目 ピアソン記念館「外観、1F玄関のピアソン夫妻の写真と展示資料、2F唐笠何蝶記念室の展示資料」
※記念館はNPO法人ピアソン会が北見市指定管理者として運営管理（外観の写真提供：北見市商工観光部観光振興室）

心地よきひとときを紡ぐ北見のレトロ喫茶

北見では玉ねぎや薄荷など歴史ある豊かな食を味わい、ピアソン記念館など文化財の見学でまちなかを散策する際、是非訪れたいレトロで個性あふれる素敵な喫茶店があります。2025（令和7）年9月に開店から40周年を迎えた喫茶店「アングルハウス」は、趣ある店内の設えや歴史の厚みを感じる調度品があふれ、ゆったり寛げる心地よき空間です。同店はネルドリップで淹れる味わい深い珈琲と100種類以上ものケーキレシピがあり、定番のケーキと日替わりで登場するさまざまなものなど五感でスイーツも楽しめる銘店です。

もう一軒、北見市郊外の国道沿いの店舗外観からは想像できない非日常のひとときを体感できる自家焙煎の喫茶店「生出珈琲」があります。ホテル業界でのブライダルや建築業界など、ハードとソフト両面でさまざまな経験を積まれたマスター生出氏ならではの感性が表現された店内はとて心地良く、渾身の想いで淹れられた珈琲と、デコレーションされて登場するスイーツが心和ませ楽しいひとときを紡いでくれます。

留辺蘂が育む日本一の生産量を誇る「白花豆」

豆の粒の大きさや美しさから「豆の女王」といわれる白花豆は、食成分においても食物繊維やビタミン、鉄分などのミネラルを豊富に含み、美容と健康にも良く栄養価も高い非常に優れた食財です。留辺蘂町では古くから白花豆の栽培が行われ、その生産量は日本一を誇ります。2015（平成27）年、町内温根湯地区では農家の主婦6人を中心に、飲食店やホテルの有志により「るべし白花豆くらぶ（会長：森谷裕美氏）」が結成され、白花豆のPRによる消費拡大や地域振興に取り組まれています。白花豆は5月の種まきから10月の脱穀に至るまで手作業が多く、収穫される一粒一粒は生産者の愛情が込められた結晶です。留辺蘂では、森谷氏ら生産者の熱い想いを老舗菓子店やレストランが受け継ぎ、産地ならではの銘菓や料理を創作、提供しています。とても繊細で上品な甘みを噛みしめると、ここでしか味わえない美味しさがあります。この丹精込めて栽培された豆を、四季折々の豆畑の風景とともに一人でも多くの方に堪能していただきたいです。



高栄東町1丁目 アングルハウス「店舗外観、ティラミス」
※リピートして数多くのケーキを一つ一つ味わいたくなる銘店です



留辺蘂町温根湯温泉 ふじや菓子舗「白花豆の各種スイーツ」



大正138-2 香味自家焙煎 生出珈琲
「ネルドリップで淹れた珈琲とスイーツ、こだわりの店内設え」
※グループで、独りで訪れても、時間と価値を創造する至福の空間が、時間が経つことを忘れ、非日常で珠玉のひとときを紡いでくれます



留辺蘂町旭西220 レストランエフ（ef）
「白花豆の料理やスイーツ、北見塩やきそば」
※店名ef（emotion（感動）、forte（強い））には、ふるさと「留辺蘂」に対する店主古田亜由美氏の熱い想いが込められています

オホーツク遺跡街道を巡り感じる深き郷土愛

昨年秋、枝幸町から網走市までオホーツク海を南下し沿岸に数多くある遺跡や文化施設を順々に巡り、オホーツク文化を体感するモニターツアー（企画：北海道運輸局／オホーツク遺跡街道推進ネットワーク）に参加しました。このツアーは、オホーツクミュージアムえさし、紋別市立博物館、ところ遺跡の森など文化施設を訪問し、学芸員から古代オホーツク文化の解説を受け遺跡に赴き、千年以上前に北海道、樺太、千島のオホーツク海沿岸で栄えた海洋狩猟民族（オホーツク人）が築いた文化に思いを馳せる機会を得ました。

あわせて、オホーツク海沿岸を旅する道すがら、新鮮な生乳から誕生する各種乳製品や、漁業関係者の方とともにあまり市場に出回ることのない未利用魚を調理した料理を食べ、食事を通じて地元の食、文化や歴史にまつわる話を直に伺え、とても有意義な時間を過ごせました。さらには、かつて「東洋一の金山」とも称された鴻之舞鉱山跡地や、その近くにある旧上藻別駅通所（国登録の有形文化財）を訪ね、市民有志が収蔵展示する鴻之舞資料館も見学しました。館内には当時の鉱山やこの地区での生活文化がわかる多くの展示資料と鴻之舞地区のジオラマが展示されています。

このツアーの仕掛け人であり、興部町で「ノースプレインファーム」を営み酪農と食品加工業に取り組まれる大黒宏氏との懇談より、ふるさとのオホーツクをこよなく愛し、地域を盛り上げたい熱い想いが伝わり、まだまだ知られていないオホーツクの魅力の奥深さを体感することもでき、大変感銘を受けました。



北見市常呂町字栄浦 ところ遺跡の森「竪穴住居」



興部町北興 ノースプレインファーム「各種乳製品」



興部町沙留港 ぽ三さる舎「施設外観、未利用魚の料理」



枝幸町目梨泊 北見神威岬公園
「公園から目梨泊遺跡（矢印付近）～北見神威岬を望む」



紋別市上藻別 旧上藻別駅通所「外観、館内の展示資料」